

越乃大社

# 鵜坂神社

奉賛会 会長  
岡村 修行

発行者  
鵜坂神社  
山内 伸

編集者  
蒲田 政彦

## みんなで守ろう 文化財 第62回

# 消 防 訓 練

## 文化財防火デー

平成二十八年一月二十四日(日)十時より婦中消防署と婦中方面団鵜坂分団による消防訓練が行われました。

文化財防火デーの制定は、昭和24年1月26日に現存する世界最古の木造建造物である法隆寺(奈良県斑鳩町)の金堂が炎上し、壁画が焼損したこ



消防車からのホース接続開始



地域住民による初期消火訓練

とに基づいています。

この事件は国民に強い衝撃を与え、火災など災害による文化財保護の危機を深く憂慮する世論が高まり、翌昭和25年に文化財保護の統括的法律として文化財保護法が制定されました。

「鵜坂神社本殿内から出火、延焼拡大中である」と言う想定で行われ、住民による初期



延焼中の神社に向かって放水訓練



文化財(御神体)搬出訓練



負傷者救出訓練

消火は、雪の中を消火器を持って火元まで走り、栓を抜いて勢い良く炎に向って消火しました。  
「本殿」内の御神体を運び出す役の人も、急いで御神体を文化財に見立てた仮の箱を手際よく持ち出していました。

その後、婦中消防署と鵜坂分団の消防士による放水が行われ、二本のホースから境内の木に向けての消火訓練が行われました。

御神体は、平安時代末期の作・29.5cmの木造女神像一体、鎌倉時代初期の作・台座に鎮座し笏を胸にしている51.5cmの木造男神像一体が有ります。

その後、辰本昭雄婦中消防署長の講評及び藤井泰三婦中教育行政センター所長と岡村修行奉賛会会長の感謝の言葉で消防訓練が終了しました。

第57回として平成二十三年に行われた消防訓練以来になります。

文化財と同様、皆様のご家庭でも火の元に気を付けましょう。寒い中ご協力有難う御座いました。